

事業所における自己評価表（公表）
（児童発達支援）

公表：令和3年3月30日

事業所名 ふじのみ園

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	1	内容によっては海洋センターなど広い施設を利用しています。
	2 職員の配置は適切であるか	6		法令で必要とされている人員配置基準を満たした職員配置をしています。
	3 生活空間は、本人に分かりやすく構造化された環境になっているかまた、障がいの特性に応じ、事業所の設備等はバリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	6		現状スロープや車いす対応のトイレ等の設備はある。今年度も衛生面から畳の入れ替え、また、コロナ感染対策として、マスク、消毒液、空気清浄機の着用・設置など適切な環境整備に努めています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子どもたちの活動に合わせた空間になっているか。	6		清潔な空間を保つため、新たに職員室・職員トイレにも空気清浄機を設置すると共に、職員が室内や教材等の細やかな拭き取り掃除などを行っています。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に広く職員が参画しているか	6		子どもたちの支援について日々話し合いを行うことで、情報を共有し業務の改善につなげています。
	6 保護者向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6		保護者向け意向調査を実施し公表しました。
	7 事業所向け自己評価及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公表しているか	6		事業所職員による自己評価を公表しました。保護者向け自己評価による調査結果を含め必要な改善をしていきます。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を改善につなげているか		6	現在は実施していません。今後、市並びに法人本部と検討していきます。
適切な支援の提供	9 職員の資質向上のために、研修の機会を確保しているか	6		随時研修会に参加し、資質向上に努めています。
	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	6		年2回定期的にアセスメントを実施しています。
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6		新版K式発達検査を使用しています。
	12 児童発達支援計画には、児童発達ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	6		「発達支援」については具体的な支援をおこなっていますが、「家族支援」については利用者の相談専門員との連携を深めるよう努めています。「地域支援」については主として障がい者サポートセンター「絆」や松江市発達・教育支援センター・市保健師と連携することで、障がい児相談支援を実施しています。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	6		児童発達支援計画(個別の支援計画)に基づいて支援を行い、年2回評価を行っています。
14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	6		情報を共有しながらチームで計画を立てている。	
15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6		毎日の活動がマンネリ化しないよう職員で意見を出し合っている。	

関係機関や保護者との連係	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	6		子どもの状況に応じて個別活動と集団活動を組み合わせる計画を立てている。
	17	支援開始前には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6		毎朝、支援前に確認している。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日に行われる支援の振り返りを行い、気付いた点を共有しているか	6		支援前に職員間で確認を行い、支援後にはその日の気付いた点など話し合い、職員で情報共有しています。
	19	日々の支援に関して記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6		毎日の様子や支援の内容を連絡ノートに記載し、保護者と情報を共有している。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	6		児童発達支援計画のモニタリングを6ヶ月毎に実施している。
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6		クラス担任等ふさわしい者が参画しています。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	6		必要に応じてケース会議など実施し、情報交換を行うようにしています。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	6		現状では必要なスタッフが本園にはいないので、医ケアの子どもの実践的支援はできないが、相談ならぬ。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども東和支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等との連携体制を整えているか	6		現状で本園で医ケア対象の利用はしていない。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6		情報交換会や移行支援会議を実施している。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6		情報交換会や移行支援会議を実施している
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等との専門機関と連携し、指導や助言を受けている。	6		研修会に参加したり、場合によっては指導助言を依頼することもある。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動することがある。	6		年10回近隣保育所と交流を計画していたが、コロナ禍の為、実施できなかった。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	6		まだ本園では参加していない。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6		送迎時必ずその日の体調や活動の様子の情報交換を必ず行っている。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング)の支援を行っているか	1	5	今年はコロナ禍の為、実施できなかった。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6		利用契約書に基づき分かりやすく説明している。

保護者への説明責任	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	6		児童発達支援計画の支援内容は保護者に説明し、同意を得ています。
	34	定期的に保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と指導を行っているか	6		随時相談にのったり、アドバイスをしている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会を開催する等により、保護者同士の支援をしているか	6		前期は保護者会を実施したが、コロナ禍のため紙面にて連絡とした。
	36	子どもや保護者からの相談の申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ速やかに対応しているか	6		苦情・相談窓口や相談箱を設置し、対応している。法人の苦情相談の相談員及び電話についても掲示している。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6		毎月「園だより」を発行し、活動状況や行事予定等情報発信している。
	38	個人情報の取り扱いには十分注意しているか	6		利用時に「個人情報同意書」を提出していただき、十分に注意している。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6		特に子どもの実態に応じて視覚支援を利用するなどして情報伝達に努めている。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を行っているか	6	6	地域住民を行事に招待することは実施していません。コロナ禍の為、高校生にボランティアの行事参加も中止としました。
非常時の等々の対応	41	緊急対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	6		マニュアルは策定しているが、保護者への避難集合場所の周知については文書連絡をした。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他の必要な訓練を行っているか	6		天候や子どもの状況等によっては訓練ができないときもあるが、可能な限り行っている。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん等の子どもの状況を把握しているか	6		保護者からの聞き取りで、把握につとめている
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がなされているか	6		保護者からの聞き取りを徹底している。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6		ヒヤリハット事例集は作成し、事故等には十分配慮している。
	46	虐待を防止するため、職員の研修会を確保する等、適切な対応をしているか	6		職場内で防止についてチェックしたり、職場外での研修会に参加している。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明して了解を得た上で、児童発達支援計画書に記載しているか	6		現在対象児となる子どもは在籍していない。